

第2回

かかりつけ医機能が発揮される制度の施行に関する分科会

KOYANAGI 真柄CLINIC

「地域社会におけるかかりつけ医機能とは何か」

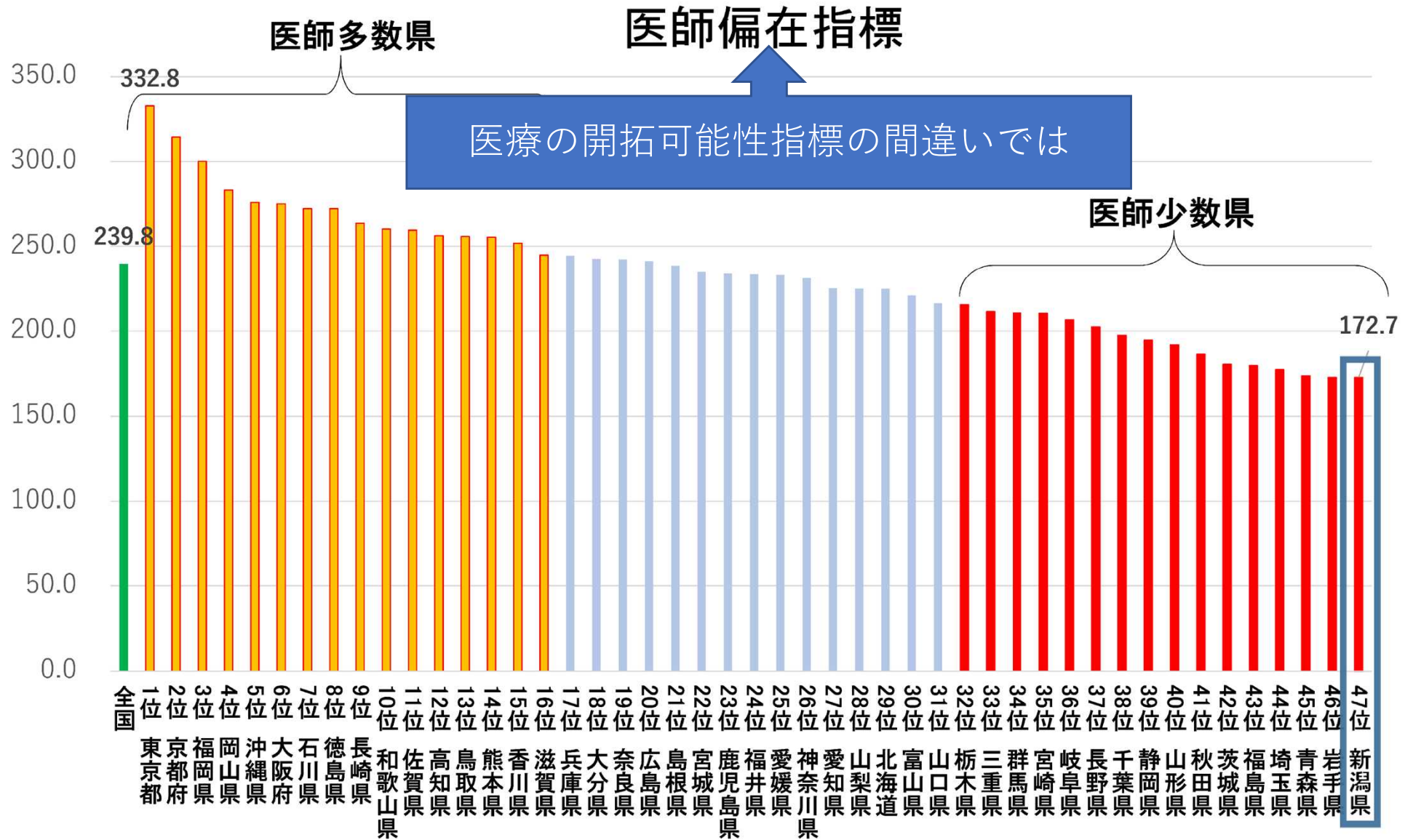
2023年12月6日

医療法人 小柳真柄医院理事長

新潟県医師会理事

小柳 亮

新潟で医師をすることの意義・意味



地域社会におけるかかりつけ医機能とは何か

1. プライマリケア・在宅医療・感染症診療を行い、スクリーニングやトリアージを行い、いわゆる連携を行う事はかかりつけ医機能の一部にすぎない

2. 地域社会におけるかかりつけ医機能の目的は、「地域社会の構築」であり、そのため医師が協力しあい面を形成し出来る全ての事をする。

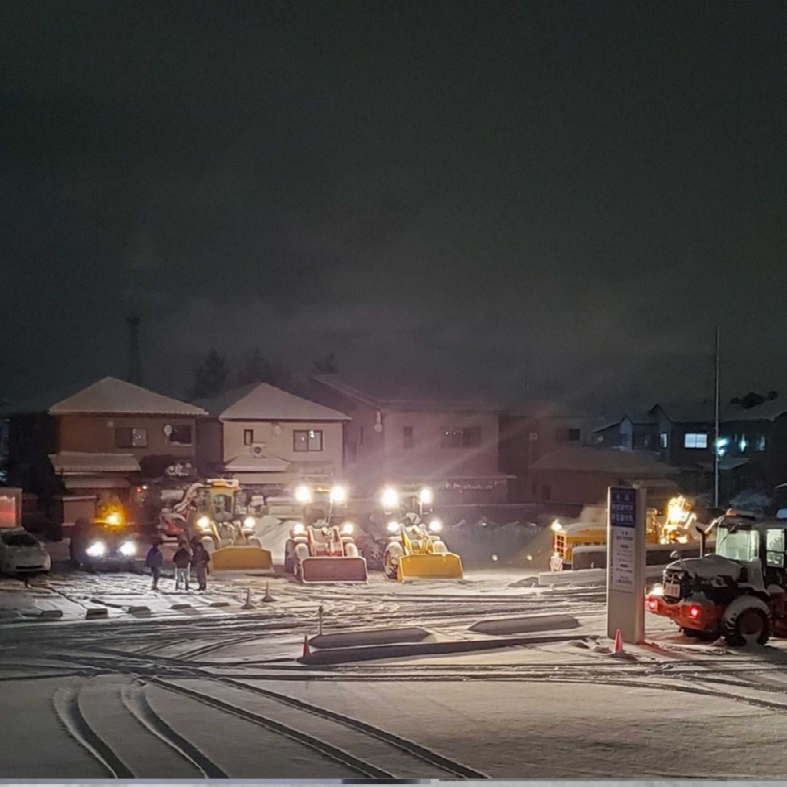
外来、往診、予防(3つの使命)

学校医 産業医 警察医 施設配置医

医療・介護施設運営その他地域の公衆衛生普及啓発に関する全て

3. そのため、幅広い疾患に対応し、社会的な観点も含む診療能力の習得が必要

私は地域の皆さんと同じ空気を吸い、同じスーパーで買い物をし、同じ風土で住まう仲間であれば、理想のかかりつけ医機能は発揮出来ないと考えています。



KOYANAGI真柄CLINIC

1915年に開設された真柄医院を再構築し2012年開業。2022年8月に創立107周年を迎えました。

3つの使命と5つの行動

1.外来 2.往診 3.予防

1.自動化 2.機動化 3.教育・訓練 4.ペーパーレス化 5.地域社会構築



5つの行動



自動化 Automation

AI問診
AI電話対応
自動会計機
検査報告電子化
オンラインワーカー



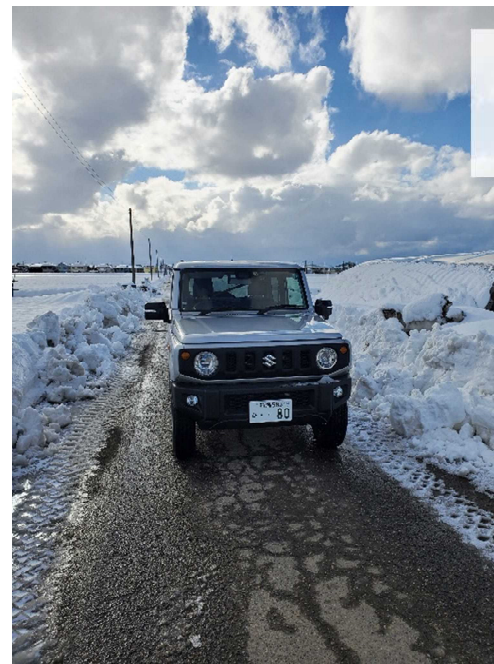
教育・訓練 Teaching & Training

職員研修
中央省庁見学
新潟大学医学部実習
MSW実習
新潟青陵大学看護実習



ペーパーレス化 Paperless

電子カルテ
新潟市医師会
共通カルテ
(SWANネット)
公文書電子化
検査報告電子化



機動化 Mobilized

訪問診療
往診随時可能
訪問看護併設（24時間）
遠隔診療
往診車10台
大型除雪車
移動電子カルテ・エコー



地域社会構築 Community Development

産業医活動
警察医活動
学校協力医活動
新潟県・市医師会各種委員
日本医師会委員 6

KOYANAGI真柄CLINIC 2022年度

人員 診療所：医師3名、看護師2名、検査技師2名、受付事務6名、庶務1名
訪問看護ST：看護師5名、事務1名

外来部門

- 外来患者数 約2311-3227人/月

往診部門

- 往診（訪問診療）患者数 126人/月
- 往診（訪問診療）累計人数：約1606人/年
- 看取り患者数：12名/年

検査部門

- 上部内視鏡検査 528件/年 心エコー一件数 622件/年
腹部エコー一件数 291件/年
- 肺機能検査 392件/年 睡眠時無呼吸症候群CPAP管理 59人
- 診療情報提供書 603通/年 主治医意見書 152通/年
- 訪問看護指示書 530通/年

予防医療部門

- インフルエンザワクチン接種患者3623名（2020年度） 産業医 計5社

自らの地域医療を面としてとらえる



済生会新潟病院

木場地区

北陸道

黒埼地区

国道8号線

すみれ訪問看護ステーション
24時間対応

曽野木団地

信濃川

黒埼地区 25,893人

KOYANAGI真柄CLINIC
24時間対応

大通団地

中ノ口川

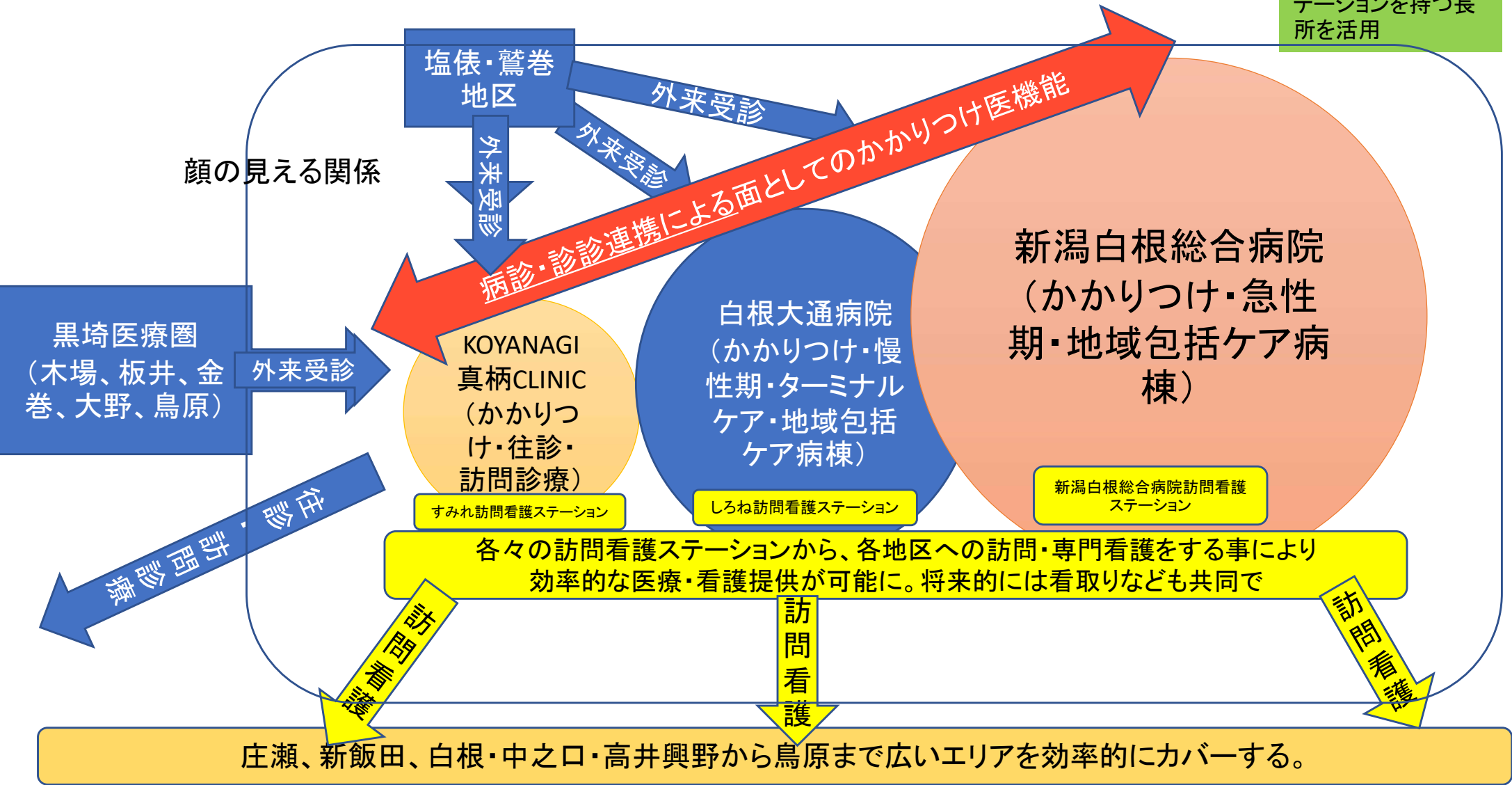
白根大通病院

新潟白根
総合病院
9km先

新潟市南区
人口46,212
世帯数15,514

当院の医療圏から白根大通病院・新潟白根総合病院への 面としてのかかりつけ医機能の構築

それぞれの医療機
関が訪問看護ス
テーションを持つ長
所を活用



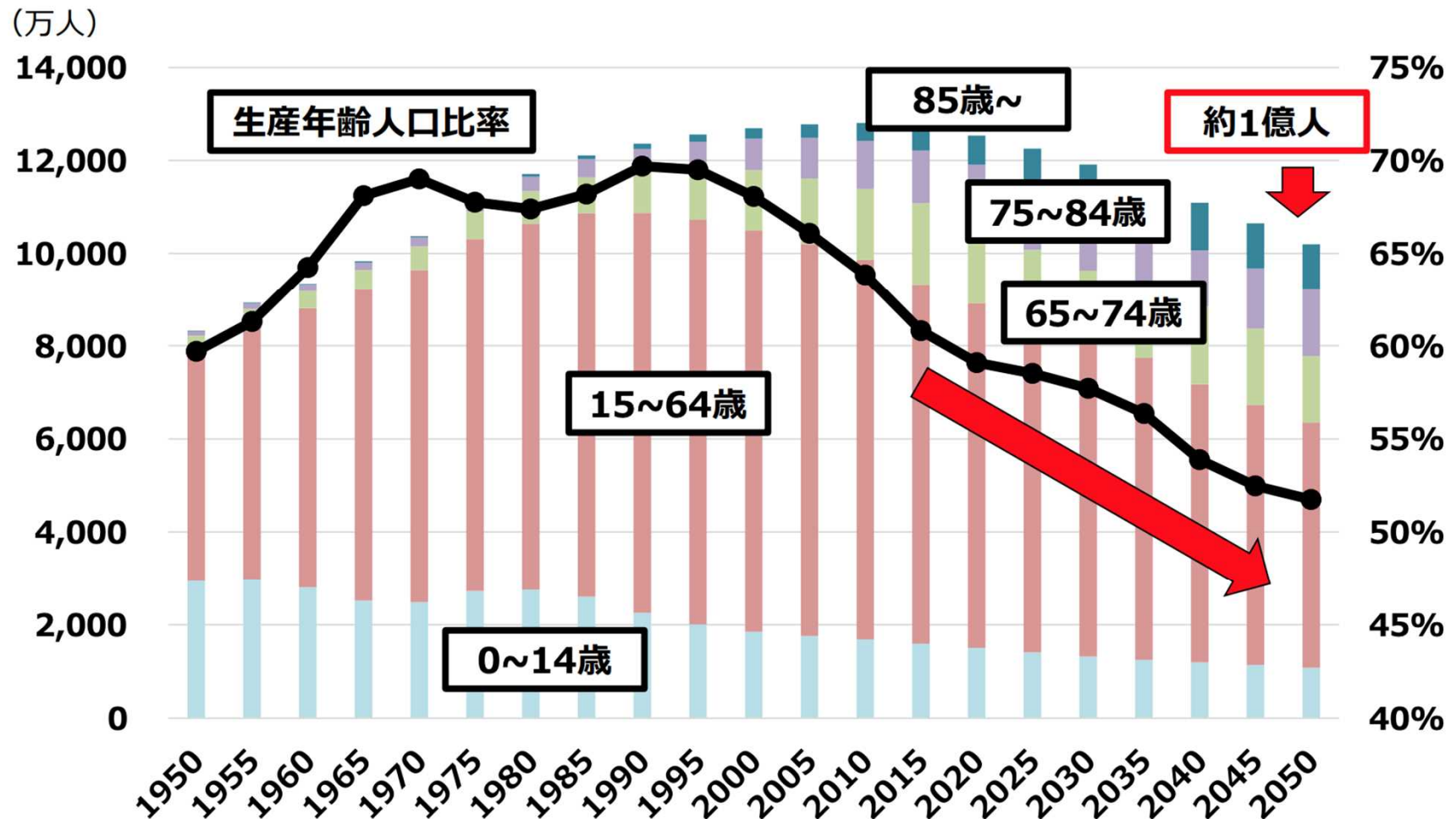
地域社会における診療所を取り巻く 外的要因

- 1.人口動態の変化
- 2.疾病構造の変化
- 3.医療政策の変化

1. 人口動態の変化

2010年の65歳以上の高齢者人口は、2,937万人であるが
2042年には3,878万人となりピークを迎える。

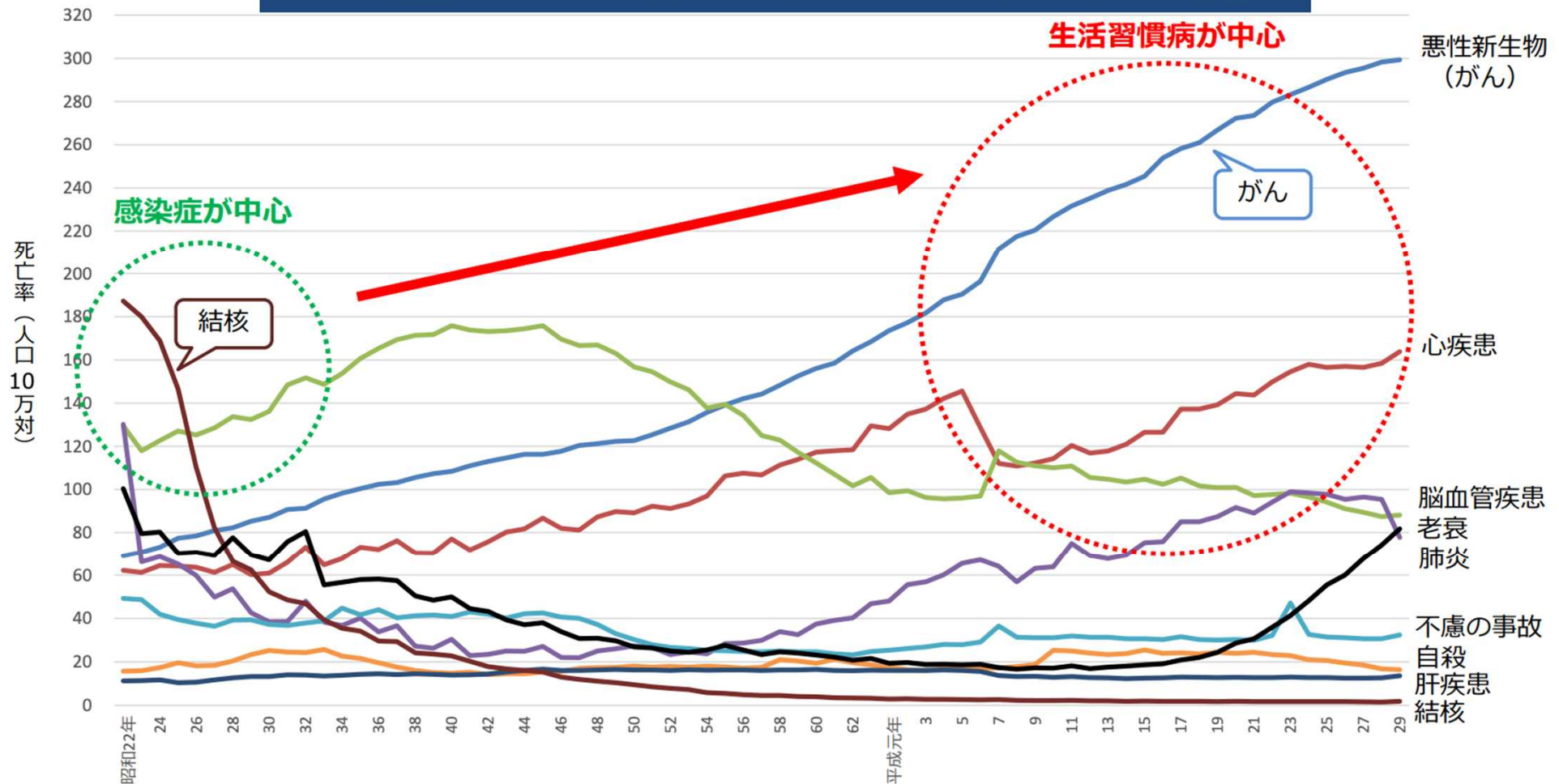
また、65歳以上の高齢者のいる世帯の約半数が、独居又は夫婦のみの世帯である。
さらに、死亡総数は現在の約120万人から約166万人に増える。



2. 疾病構造の変化

疾病構造は、かつての感染症から
生活習慣病や老化に伴う疾患へ変化

【主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移】

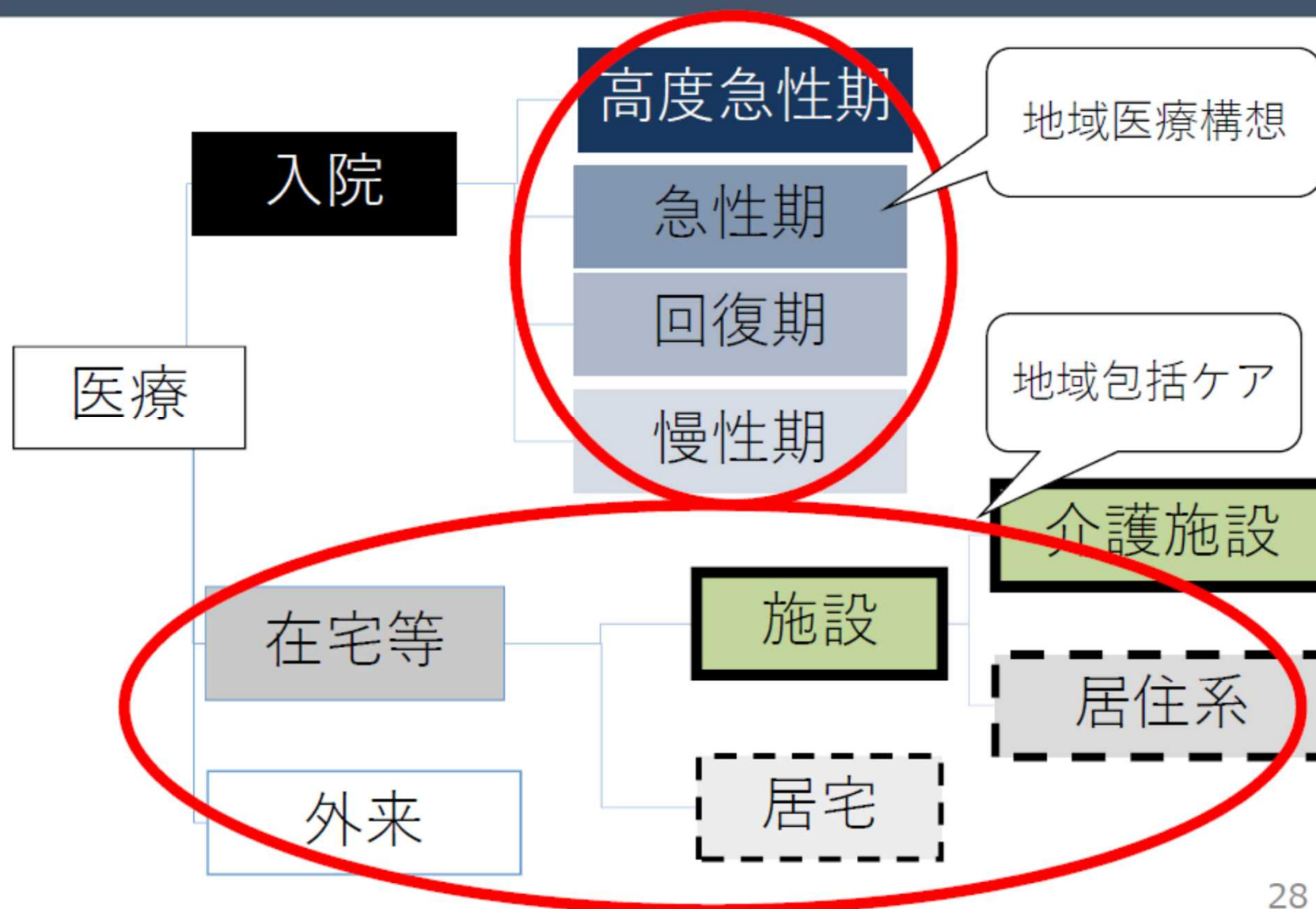


※平成6年までの「心疾患（高血圧症を除く）」は、「心疾患」である。

(出所) 厚生労働省「平成29年（2017）人口動態統計月報年計（概数）」より作成。

認知症の増加も死因にはならないが大きな変化

3. 医療政策の変化 地域医療構想と地域包括ケア



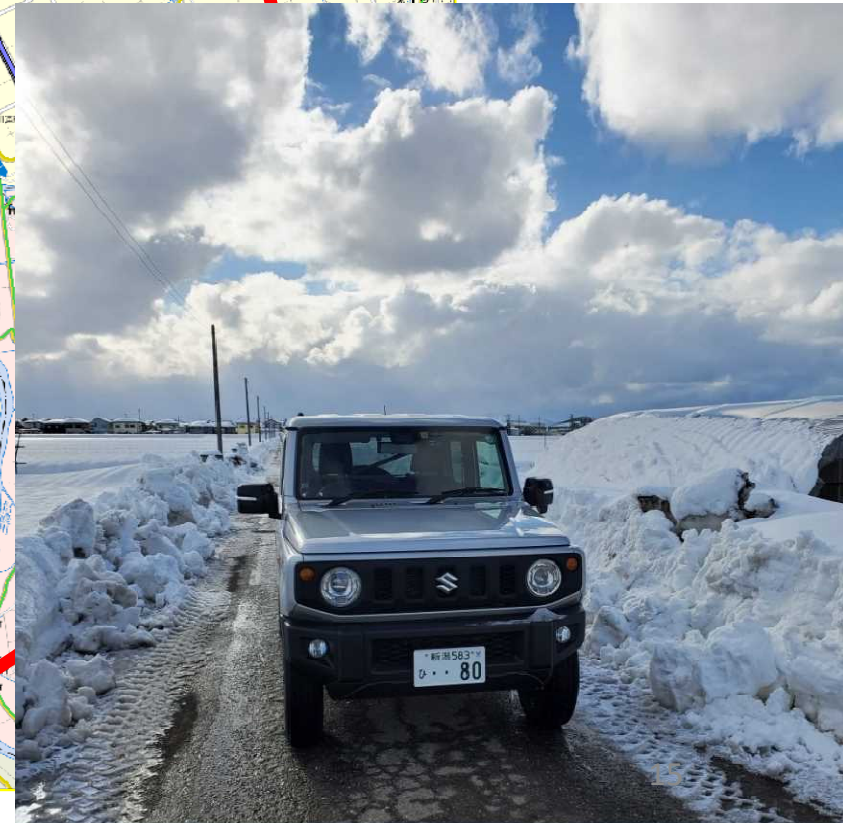
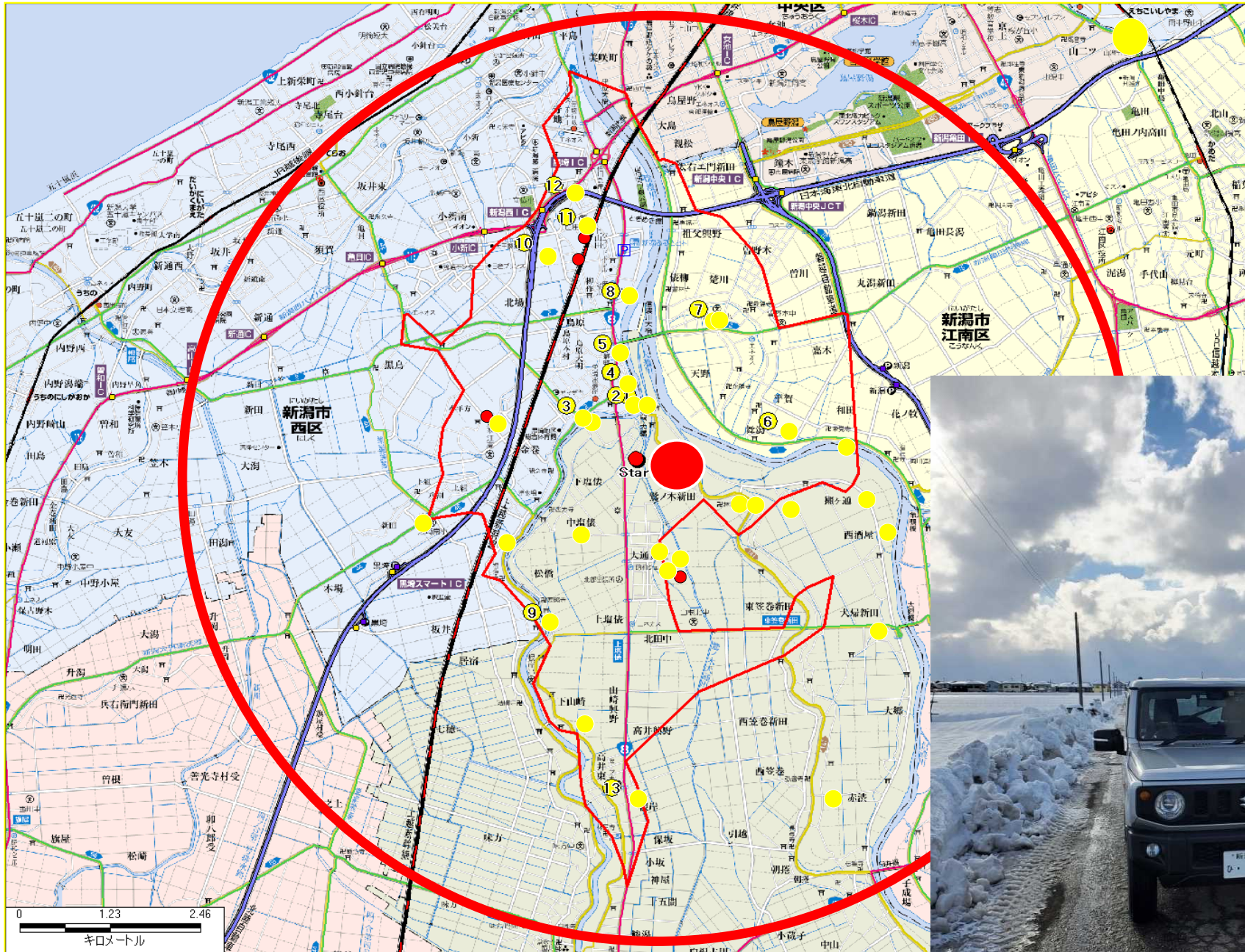
28

持続可能で質の高い医療を提供し続けるための新潟県地域医療構想の実現に向けた今後の方向性（新潟県福祉保健部より 令和3年4月）

運営十則

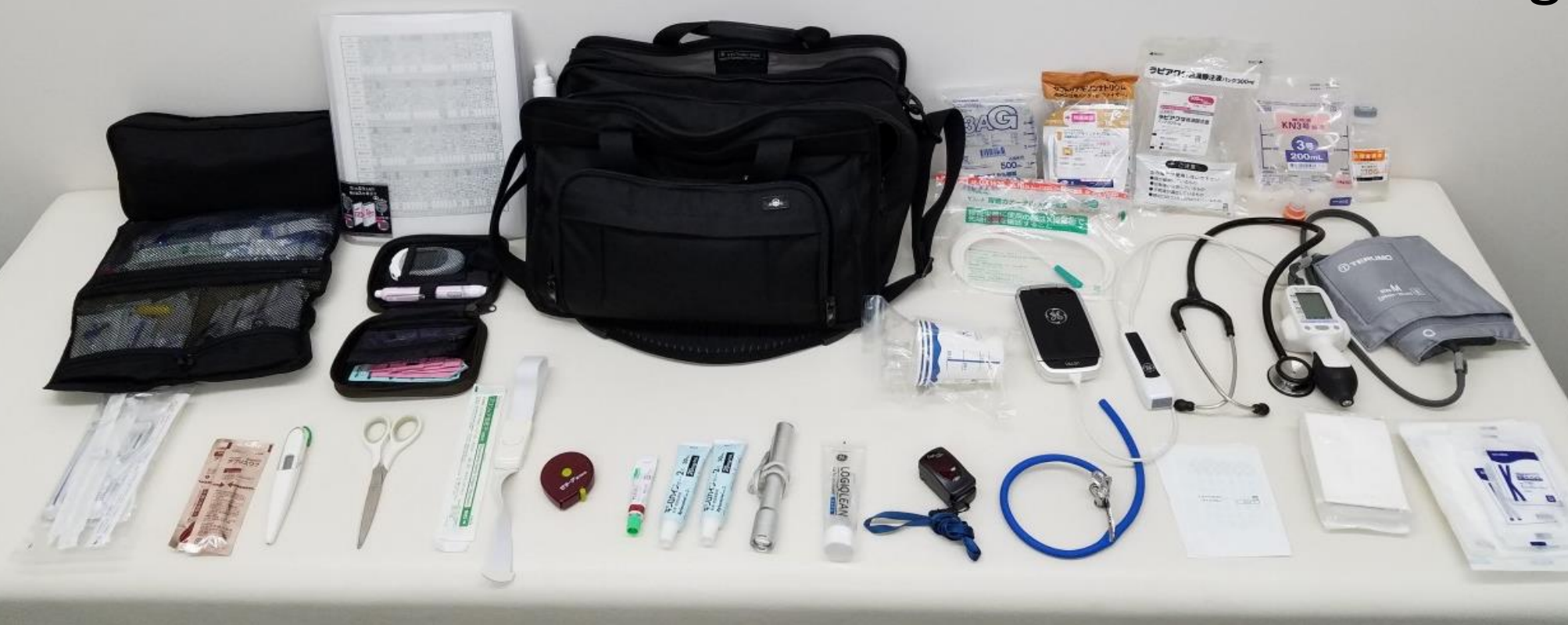
- 1) 職員採用を15km以内のものに限る。
- 2) 医療圏が広大なためICTを積極的に活用する。
- 3) 医師は診療所の2階に住み、緊急事案に昼夜を問わず可能な限り介入する。
- 4) 駐車場を可能な限り広く取り、散在している集落から通え、除雪作業がしやすい平面駐車場・診療所をシンプルな形状する。大型除雪車を建設業者に相談し、一台常駐してもらう。
- 5) 無積雪期には来院出来るが、積雪期には来院できない患者・家庭を見極め、往診計画人数にはやや余裕を持つ。
- 6) 地域の介護関係施設のケアマネージャー・介護士・事務職員と良好な関係を保ち、積雪期にはシェルター機能(ショートステイ等)を持つ介護サービスの計画を多めにする。
- 7) 往診車には四輪駆動かつ最低地上高の高いものを選択し、集落の細い道でも緊急時に必ず入っていけるよう、幅の狭い軽自動車とする。
- 8) 訪問薬剤指導の出来る、地域に開かれた薬局と提携し、脳血管疾患の多い積雪期の服薬指導・管理を徹底する。
- 9) 24時間対応の訪問看護ステーションと提携、もしくは自ら運営をする。
- 10) 後方支援病院の医師・看護師・MSW・連携室事務職員と密な連携を保つ。

往診範囲

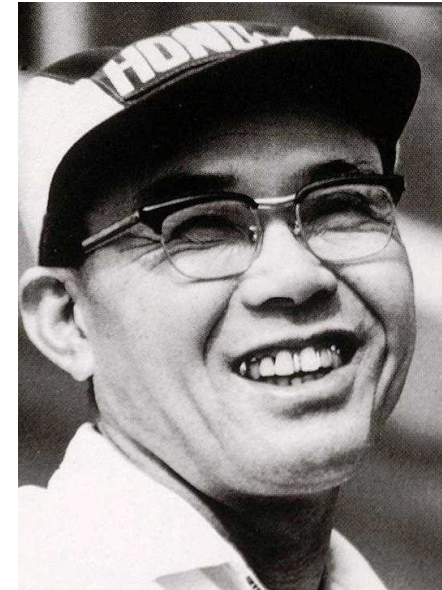


モバイルエコー、LEDライト、舌圧子、酸素飽和度測定器
フォーレ、ビンデ、ガーゼ
鑷子、体温計
尿カップ、イソジン消毒綿
血糖測定器
採血セット 補液ルート 血圧計
輸液各種（抗生剤、ラピアクタ、細胞外液）

合計10kg



本田宗一郎の名言
死んでから来ては、どんな名医もヤブ医者以下だ。



名医ではないので馬力でカバー

連 携

連携薬局7+α

トリム薬局白根大通店、白根センター薬局、本町調剤薬局、サンユー薬局、万代調剤薬局、ファルマ亀田、日の出薬局

連携訪問看護ステーション10

すみれ訪問看護ステーション、しろね訪問看護ステーション、済生会訪問看護ステーション、訪問看護ステーションみずき苑、エミシア訪問看護ステーション、ケアライフ訪問看護リハビリステーション、訪問看護ステーションにいつ 訪問看護ステーションかめだ、西蒲中央病院訪問看護ステーション

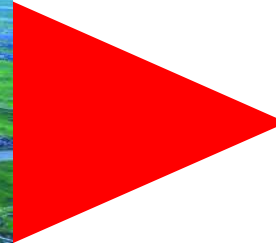
介護施設等12

スマイルガーデン黒埼、リーシェ黒埼山田、むつみの里、十季のあかり、黒埼の里、笑い愛黒埼、白根やすらぎの里、オードリー、ワールドステイ高井、翠風園、ショートステイことぶき、きなせや黒埼・白根

Invisible General Hospital

仮想化総合病院

入退院支援、病診連携、医療介護連携、診療所間の連携
顔の見える関係、ICTの活用



地域の得意を集めて一つの病院のように

3つの使命

COVID-19 対策との関わり

1. **外来**（診療・検査医療機関）
2. **往診**（入院外療養担当医師）
3. **予防**（ワクチン接種医療機関）

1つめの使命 外来

診療・検査医療機関として

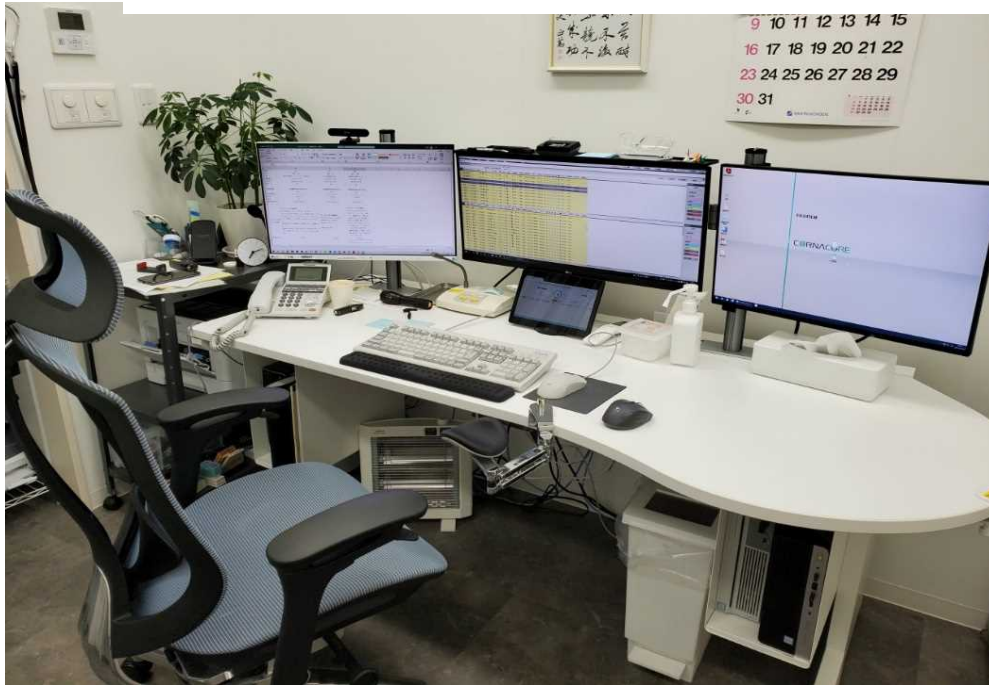
**累計PCR・抗原検査 6534名
(陽性者2030名)**

- 資機材不足により、代替え品を模索
- 発熱患者（来院）は車寄せと駐車場で診療を完結
- 車両2台準備しを感染症・発熱往診車として活用
- 大量ロットで購入する必要性から倉庫増築
- PCR施行場所として3カ所、ドライブスルー検査場として使用可能とした。
- 種々増築を考え土盛りまではした。



2つめの使命 往診

入院外（宿泊・自宅）療養担当医として
新潟県初のコロナオンライン診療を開始
累計オンライン診療回数 4402回



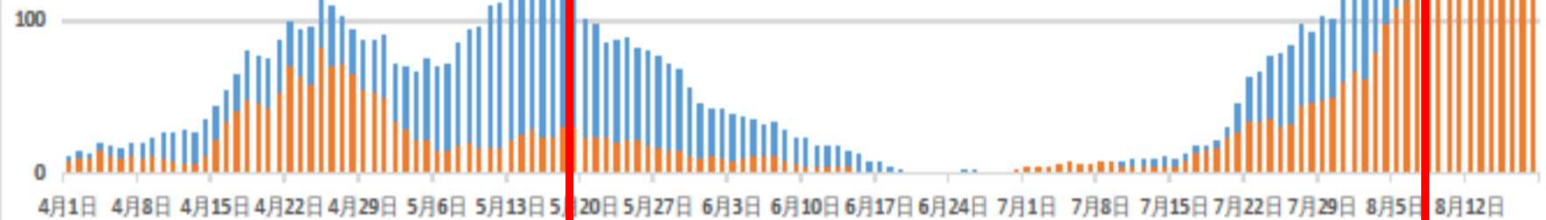
新潟市担当0809 - 0815

■新潟市 ■県

県行政との協力により

新潟県自宅療養死 **0名**

全県2021年2月27日～5月18日 新潟市6月14-22日



2つめの使命 往診 入院外（宿泊・自宅）療養担当医として

- 自宅オンライン診療室
- 医療事務増員
- 庶務事務員増員
- 非常勤医師採用
- 電子カルテ端末増設
- 感染症患者専用往診車



3つめの使命 予防

ワクチン接種医療機関として

新型コロナワクチン接種 10856回

- 事務職員、オンラインワーカーによる電話対応を強化
 - 副反応として最も考えられる迷走神経反射をなるべく少なくした。
- (院内における副反応発生は1名のみ)



認知症対応医 (新潟県オレンジドクター) 認知症の初期対応はかかりつけ医機能のひとつ

新潟県では、もの忘れや認知症について気軽に相談でき、より早い段階から適切な医療や必要な支援につながる体制の構築に向け、「にいがたオレンジドクター」（もの忘れ・認知症対応医療機関認定制度）を実施しています。

新潟県知事による認定制度で、先日100施設を達成しました。

制度構築 新潟県認知症WG
みどり病院 成瀬 聡 先生
白根緑ヶ丘病院 佐野 英孝先生



学校医

地域の宝を守るのにはかかりつけ医機能のひとつ

学校保健安全法第23条第4項

学校医は、学校における保健管理に関する専門的事項に関し、技術及び指導に従事する

白根北中学1年生

1. 健診業務
2. 突発的事項の対処
3. 養護教諭との感染症情報共有



警察医

地域の治安を守るのはかかりつけ医機能のひとつ

医師法21条により、死体に異状があった場合には、検案した医師は24時間以内に所轄警察署に届け出る義務がある。

死因究明等推進基本法が2019年6月6日、衆議院本会議で可決・成立。

安全で安心して暮らせる社会、生命尊重、個人の尊厳が保持される社会の実現に寄与することを目的に掲げている。

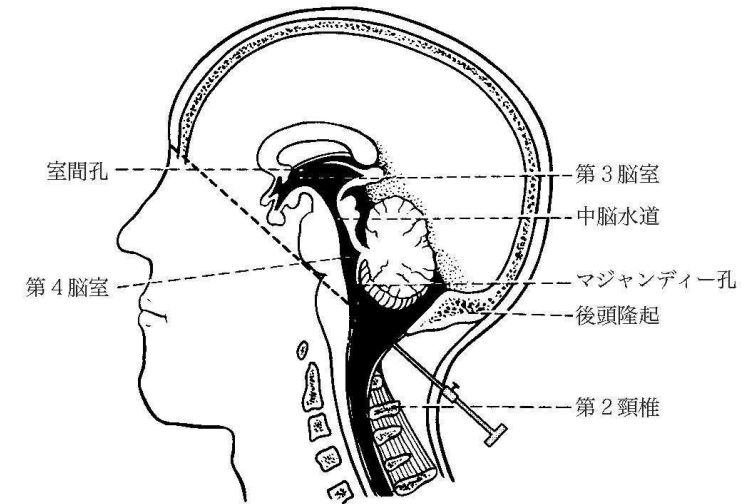



図 3-5 後頭下穿刺部位



施設嘱託医・協力医 地域の拠り所を守るのもかかりつけ医機能のひとつ

- 特養ホームには医務室を設けなければならない、医務室は、医療法（昭和23年法律第205号）第1条の5第2項（注）に規定する診療所としなければならない（特養ホーム基準第11条第3項第7号及び同条第4項第6号イ）。





地域社会におけるかかりつけ医機能

答えは地域社会の中にある
医師はそこに没入・行動・連携し
面として地域を守る